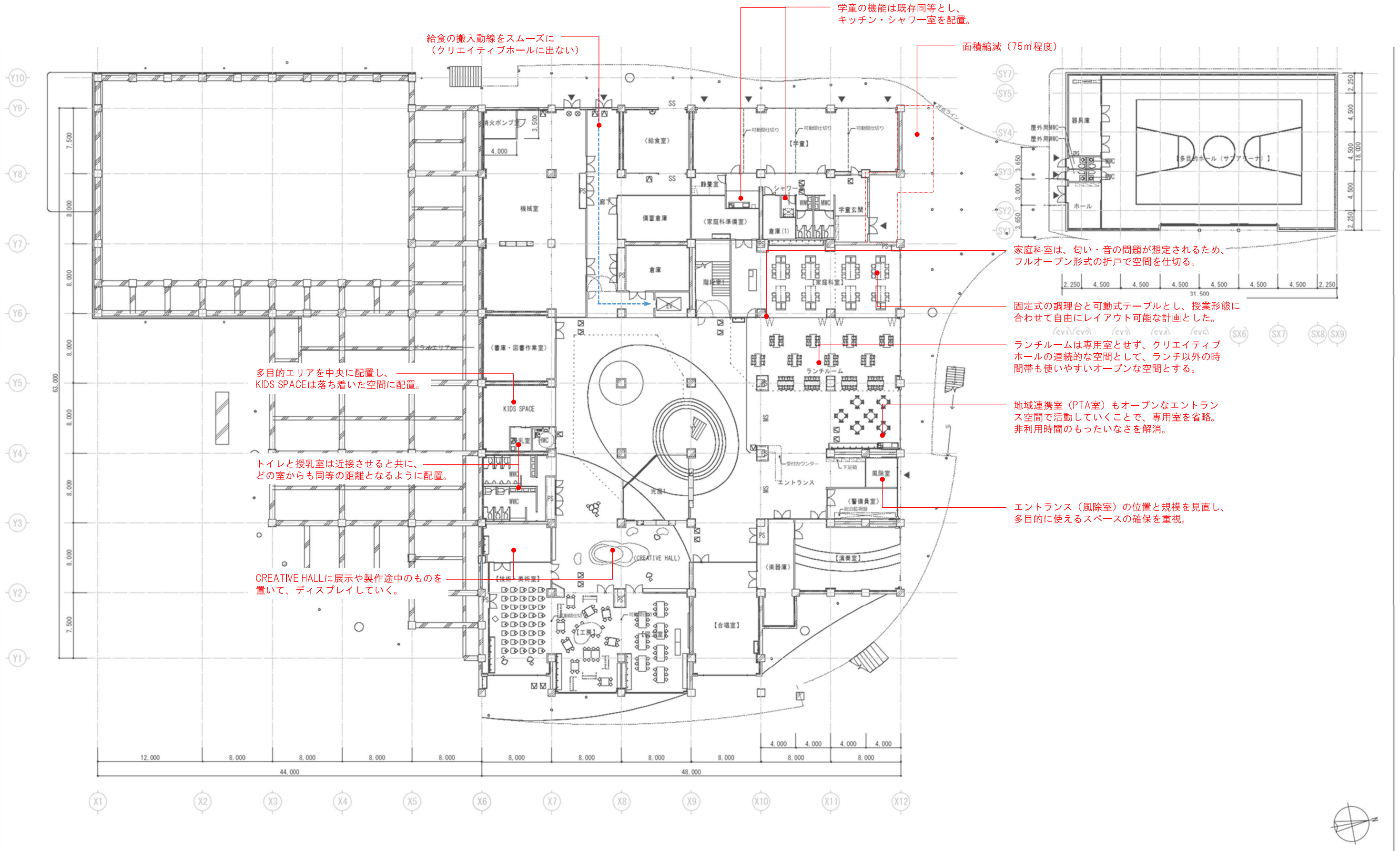
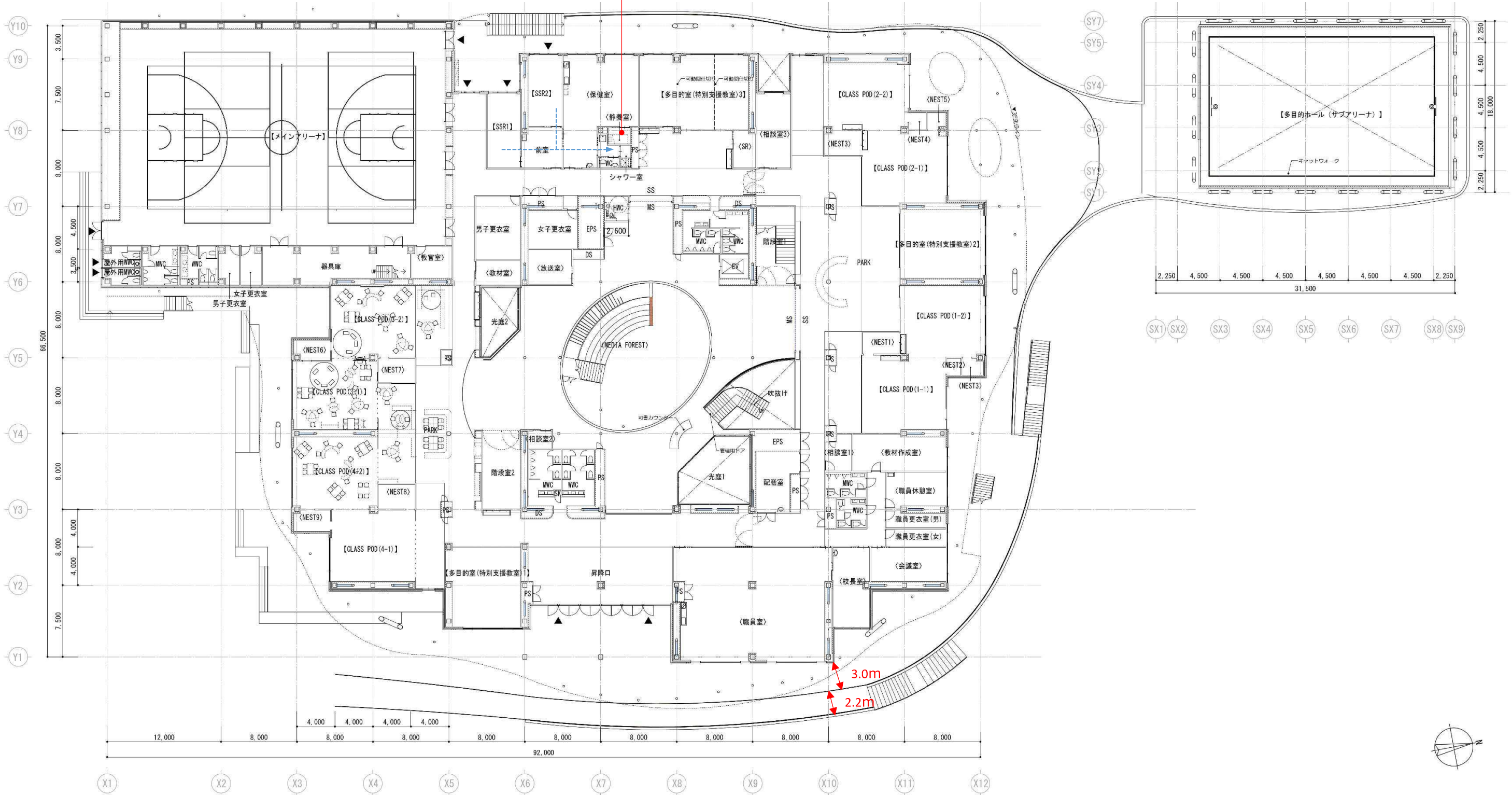


4-1 平面計画 1階平面図

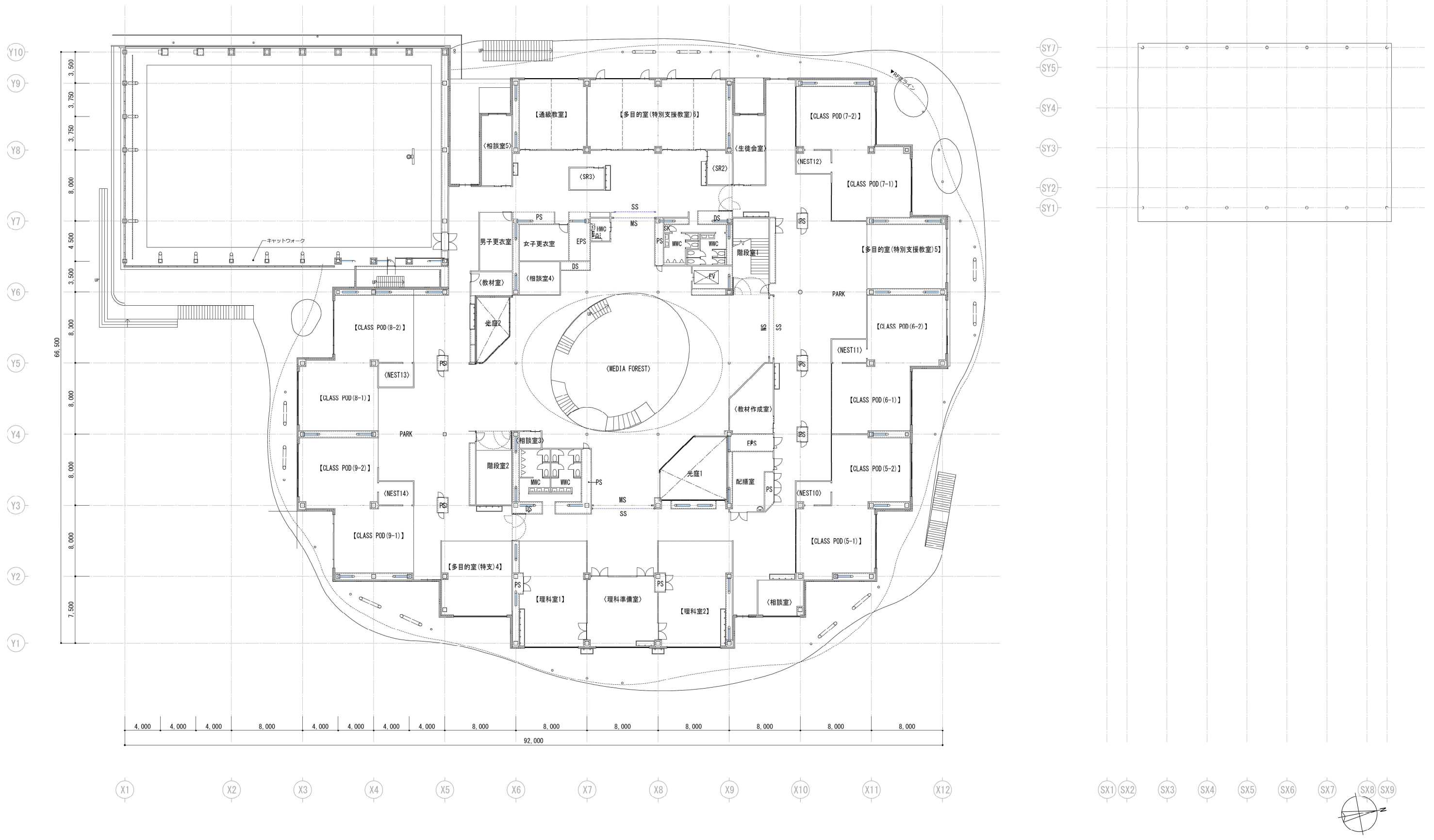


4-2 平面計画 2階平面図

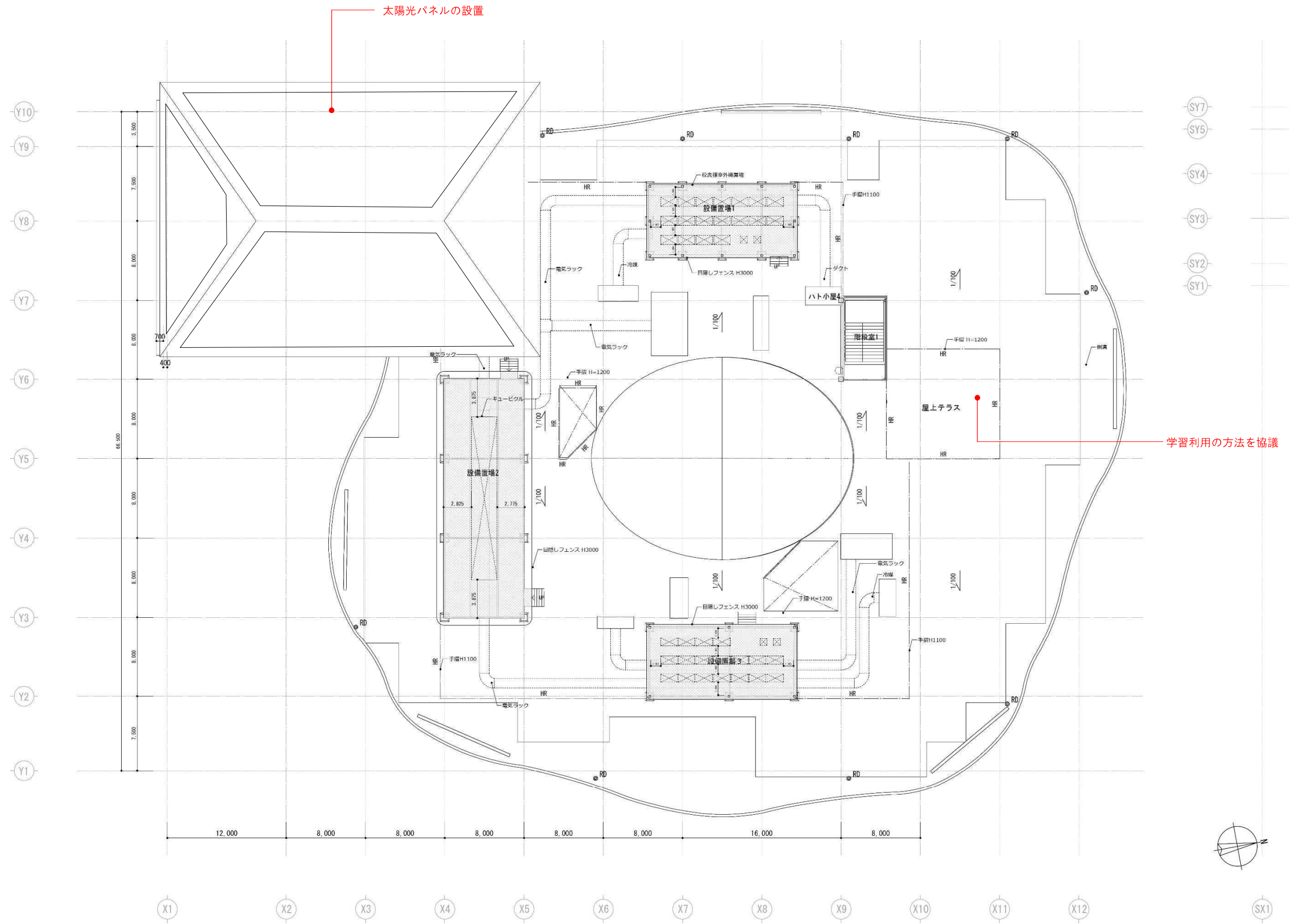
SSRに通う児童・生徒が近接したエリア内で学校生活を完結できるように、シャワー室・WC・静養室を計画。



4-3 平面計画 3階平面図



4-4 平面計画 R階平面図



5-1 内観デザイン MEDIA FOREST

1. 基本方針

- 森に包まれたような環境で、異クラス・異学年の仲間、地域の人々との協働的な学びや交流を促す。
- 多世代が集う大空間の中に、自分に合った居場所を選べるように、多様な小さいスペースを点在させる。
- 森の樹木をモチーフにした構造架構を見せるデザインかつ、ハイサイドライトによる自然採光により、象徴的な空間とする。
- 大階段では約2万冊の蔵書数を確保し、学内や地域発表会にも活用できる。各PARKへアクセスする動線の中心空間とする。

2. 内装計画

【床】

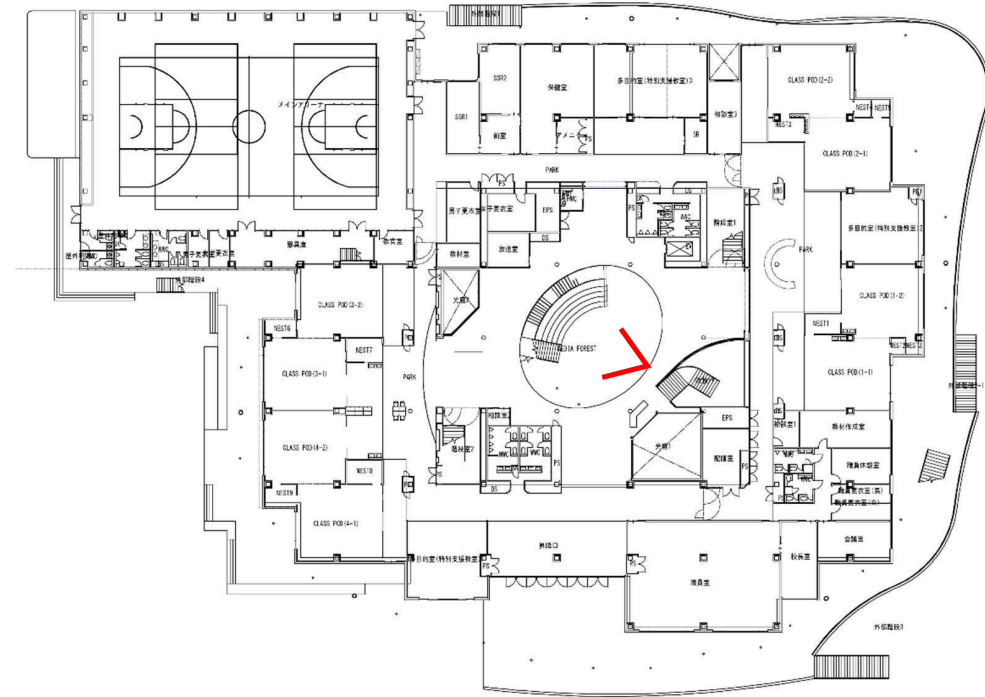
- タイルカーペット等とすることで、寝転がったり、地べたに座ったり、より豊かな活動を実現する。また、吸音性能が高い建材を使うことで、学習空間に配慮する。

【壁】

- 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修や清掃をしやすくする。

【天井】

- 木調シートとすることで、木々に囲まれた温かみのある空間とする。



■キープラン 1/800



構造架構を見せるデザイン

ハイサイドライトによる自然採光

大階段は蔵書数約2万冊
発表会にも利用可能

天井レベルに変化を与えること
で多様な居場所を創出

壁の凹み部分は色付きクロスとす
ること多様な居場所を創出

①MEDIA FOREST 内観

手すりは透け感のある仕様として
上下階の繋がりをつくる

5-2 内観デザイン PARK

1. 基本方針

- 大小の広さの異なる、活動・人数規模に応じた様々なスペースで彩られ、異クラス・異学年がゆるやかに繋がり居場所を選択できる計画。
- メディアフォレスト側の壁面はベンチや棚等を設え、学年単位の彩りを児童生徒自らつくれる空間とする。また、メディアフォレストや隣接するパークの境目はゲートを設けることで、領域感を創出する。
- 閉塞感なく軽やかな空間を実現するため、メッシュ天井とする。生徒が自ら作りこむ空間として、壁面だけでなく天井からも展示物が吊り下げられるように計画。

2. 内装計画

【床】

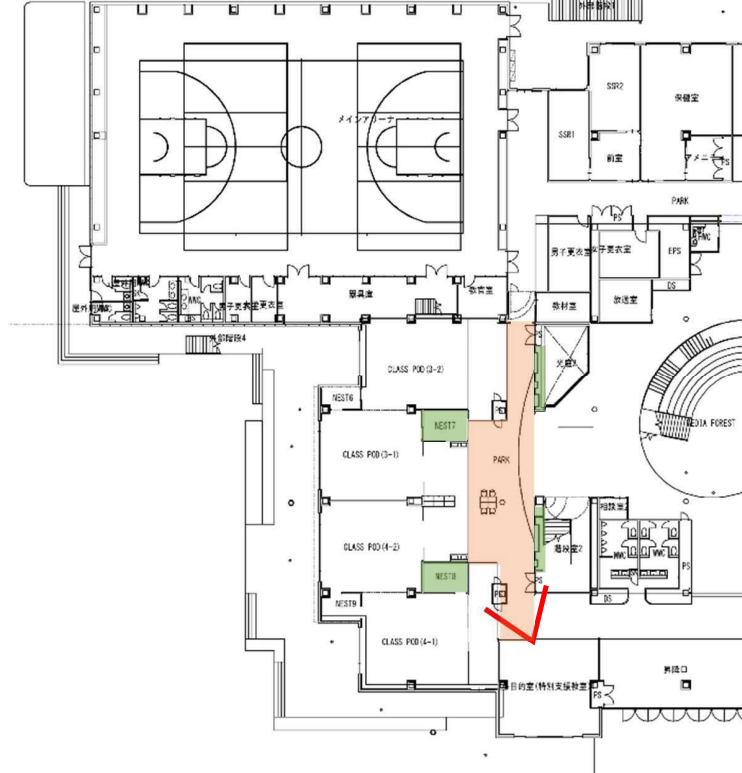
- ビニル床シートとすることで、床の継ぎ目が少なく汚れがたまりにくい計画とした。

【壁】

- 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修や清掃をしやすくする。
- メディアフォレスト側の壁面は鉄板+ビニルシート貼りとすることで、マグネットによる掲示が容易な計画とする。

【天井】

- メッシュとすることで、開放感のある空間を計画する。



■ キープラン 1/800



内観パース(PARK(3・4年))

①PARK 内観

色柄の違うフローリング調ビニル床シートとすることで、クラスポットとの領域の重なりを演出

NESTは発達段階で設えを変更し、彩りをつくる
(1・2年=壁、3・4年=ガラス)

間仕切を開放し、CLASSPODと一体の空間となる
8m×12mの空間として利用

メッシュ天井とすることで開放感のある空間かつ、展示のしやすい計画とした。

MEDIA FORESTの床材を延長し、領域の重なりを演出

メディアフォレスト側の壁面はベンチや棚、掲示板を設える

5-3 内観デザイン CLASS POD

1. 基本方針

- 8m×12mのCLASSPODの中で、NESTや様々な家具を計画することで、より自在な学びを促す空間。
- 白と木でつくられた明るい学びの空間に、NESTの壁面をアクセントとして活用し、従来の教室の単調さを感じさせない計画。
- 天井高さは2.6mに設定し、設備ルートの経路を確保。方向性を感じさせない照明計画とし、動きのある天井デザインとした。

2. 内装計画

【床】

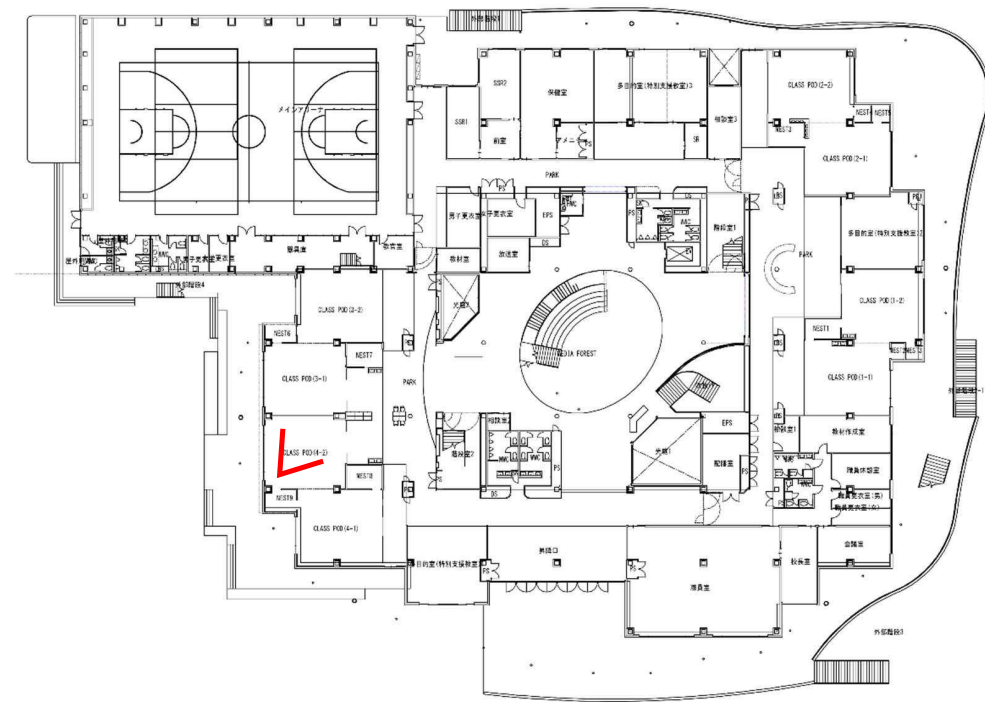
- ビニル床シートとすることで、床の継ぎ目が少なく汚れがたまりにくい計画とした。

【壁】

- 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修や清掃をしやすくする。
- NESTの壁面は土壁風クロスやコルクボードとすることで、温もりのある空間とする。

【天井】

- 穴あき石膏ボードとすることで、教室に必要な吸音性能を確保する。



■キープラン 1/800

白と木調で明るいクラスポット

NESTを囲う壁面は自然の温かみを感じるような土壁風クロスやコルクボードを採用。また、安心できる空間となる様に、くぐり口の高さを設定する。

8m×12mモジュールが連続するように開口部は大きく確保

方向性を持たない自由な活動空間として計画。



生徒の自在な学びを促せる家具計画。

①CLASSPOD 内観

5-4 内観デザイン CREATIVE HALL

※インテリアデザインについては、詳細検討中

1. 基本方針

- ・ 特別教室の活動を共用部へ展開させることで、空間をめぐる同時に多様な学びと交流を生み出せる計画とした。
- ・ 大空間の中心には光庭と2階のMEDIA FORESTへ連続する大階段を設けることで、上への連続感のある空間とした。
- ・ 見通しがよく、地域が利用しやすい空間とした。

2. 内装計画

【床】

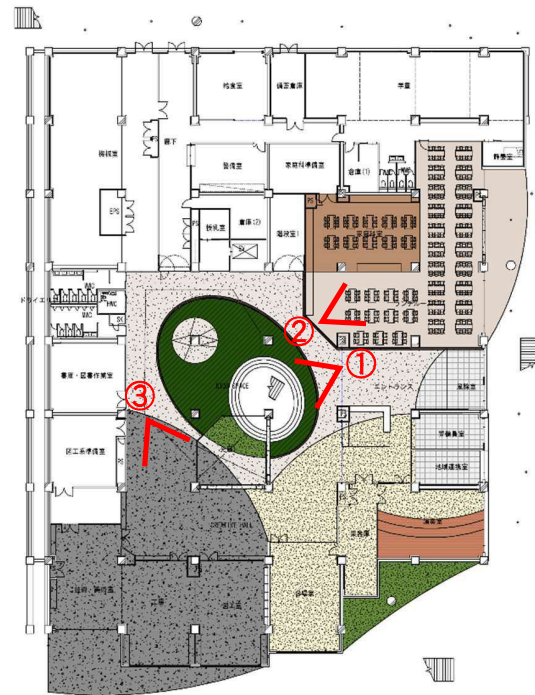
- ・ エントランス周りは、耐久性の高いビニル床タイルとし、台車を出し入れなどに配慮した。
- ・ 一部タイルカーペットとすることで、寝転がったり、地べたに座ったりと、より豊かな活動を実現する。

【壁】

- ・ 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修や清掃をしやすくする。

【天井】

- ・ ストランドボードとすることで、吸音効果と素材感のあるデザインを両立する。



■ キープラン 1/800



1階 エントランス正面

光庭周りはRCブレースとすることで採光を確保。

タイルカーペット

① CREATIVE HALL吹抜け階段



②家庭科室・ランチルーム



③CREATIVE HALL(工房エリア)

6-1 施設整備コスト

■基本設計概算

	2025年8月時点 【事業予算】(JBCI参考値)
校舎棟	71.7 億
外構	7.0 億
小学校改修	3.0 億
解体(小中)	12.0 億
土木(擁壁・造成)	10.0 億
合計(税抜)	103.7 億

5ヶ月



	2026年1月時点 【計画概算】
校舎棟	73.0 億
外構	7.0 億
小学校改修	2.0 億
解体(小中)	12.0 億
土木(擁壁・造成)	8.0 億
合計(税抜)	102.0 億

4ヶ月



	2026年5月時点 【基本設計概算】
校舎棟	75.6 億 (75.0億)
外構	6.9 億
小学校改修	0.4 億
解体(小中)	12.0 億
土木(擁壁・造成)	8.0 億
合計(税抜)	102.9 億

【内訳】 校舎：65.8億
大ア：6.4億／小ア：3.4億

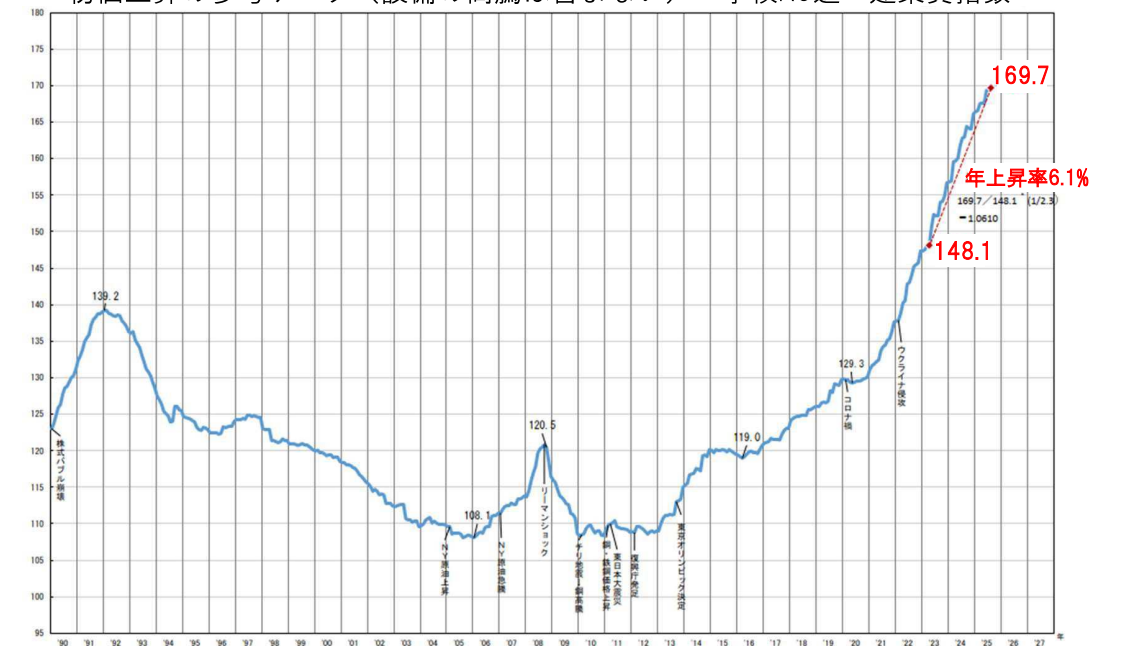
※アスベスト調査の結果によって
変動可能性があります

※近隣対応の度合いによって
変動可能性があります

※現在単価で算出しています。物価上昇は見込んでいません。

※約6.1%/年の物価上昇の傾向です。世界情勢によって、更なる変動が予想されます。

物価上昇の参考データ(設備の高騰は含まない)：学校RC造 建築費指数

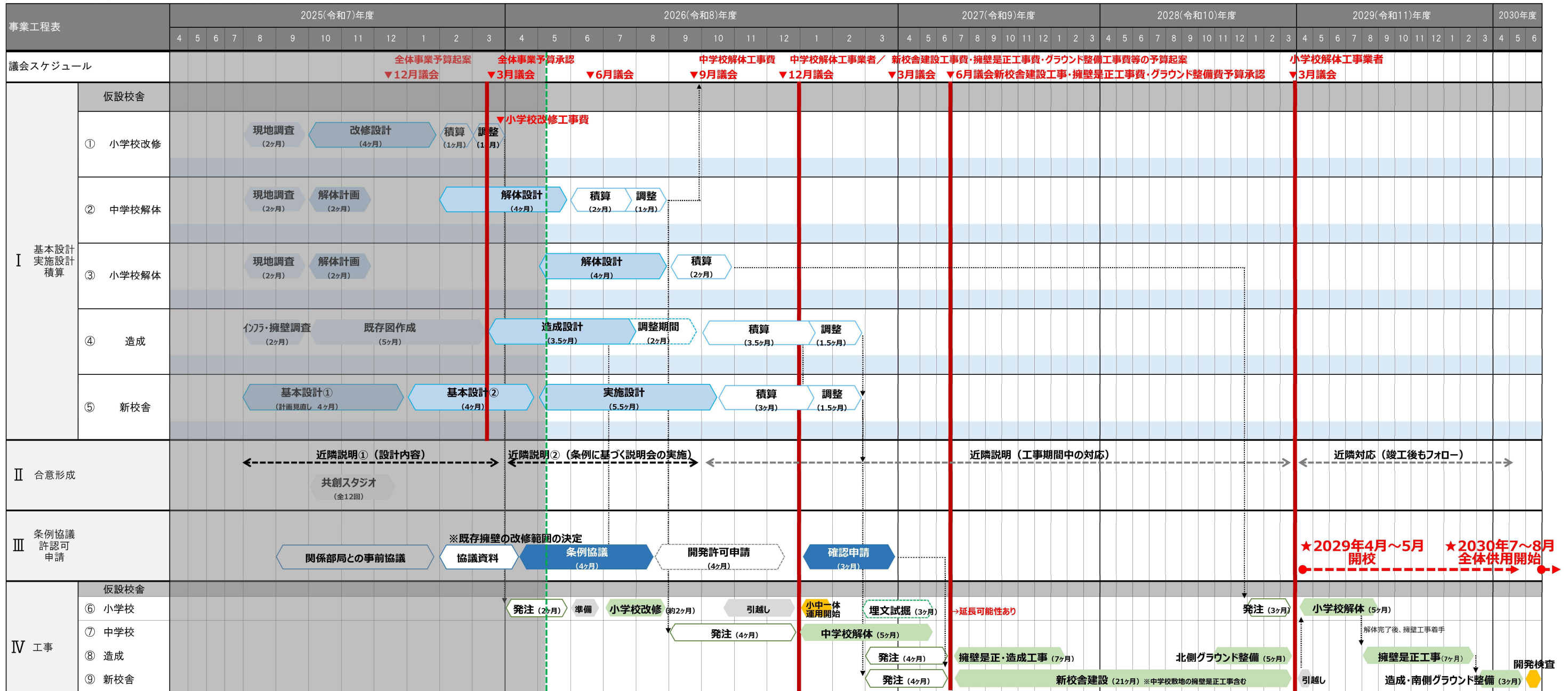


▲建築物価調査会より

6-2 事業工程

㈱類設計室

■生駒南小学校・生駒南中学校整備事業 基本設計・実施設計業務 【事業工程表】



※現在の世界情勢より、物資不足や価格の影響により工事工期が延長する場合があります。